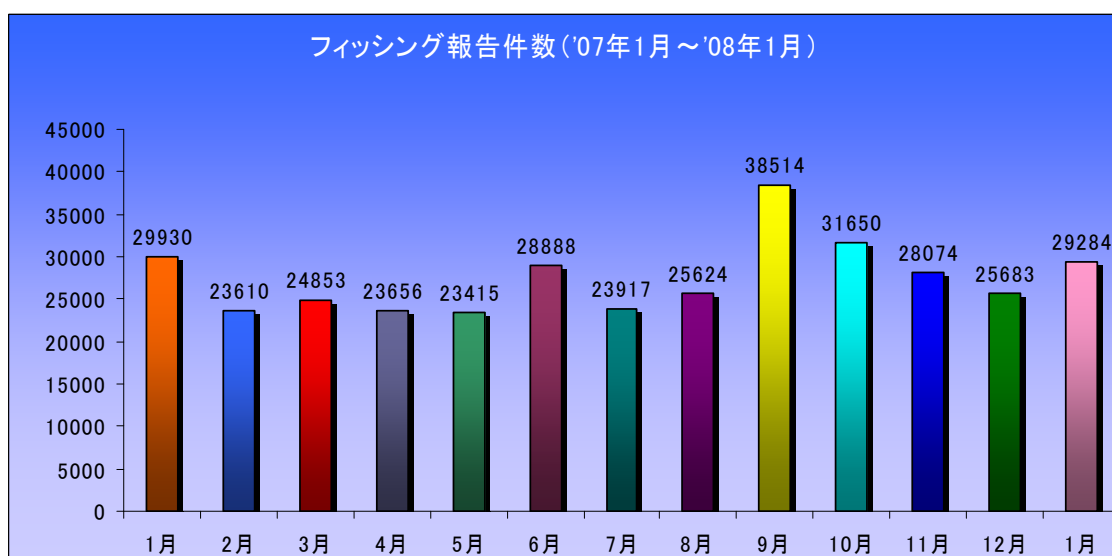


フィッシング対策協議会 4 半期レポート 2008 年 1-3 月期

2008 年 1-3 月期におけるフィッシングに関する動向やフィッシング対策協議会の活動を報告します。

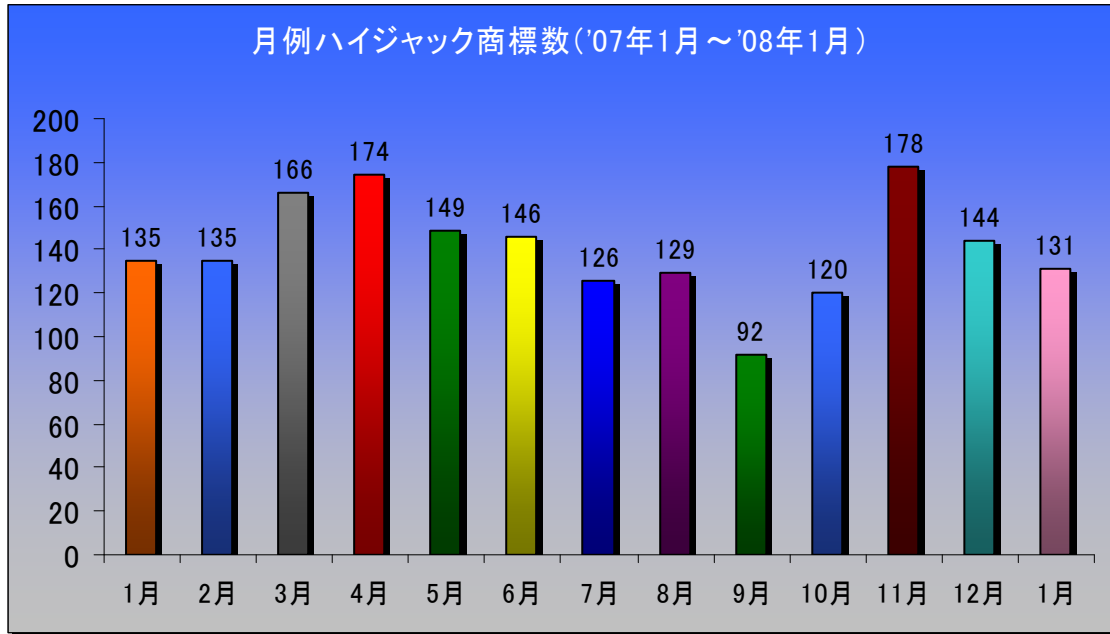
1. 海外のフィッシング状況

APWG Phishing Activity Trends Report 2008 年 1 月によれば、9-10 月期の 3 万件台より下回ったものの、3 万件弱の報告件数で推移しています。9,10,11,12 月と徐々に減って 12 月は 2 万 5 千台まで下がったのですが、1 月には 2 万 9 千台まで増加しました。



フィッシング行為報告件数 (月単位/2007 年 1 月～2008 年 1 月)

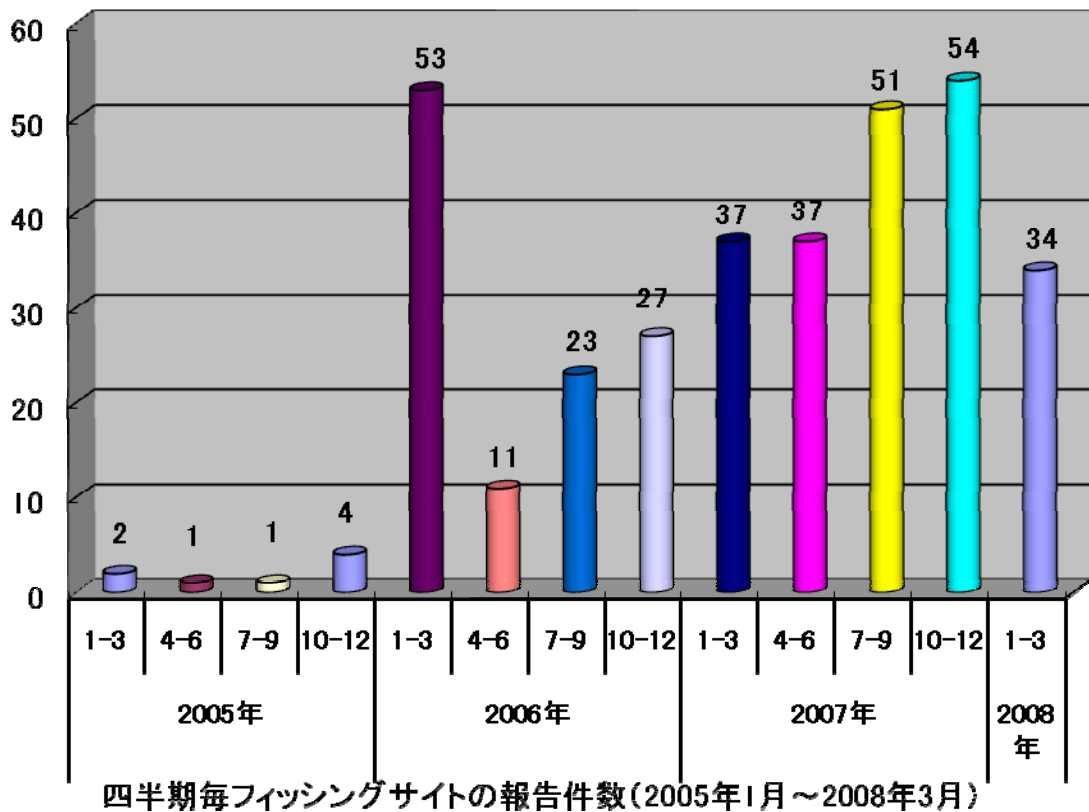
また、フィッシング攻撃の標的にされた商標数が過去 1 年で最も多かったのは 2007 年 10 月期で、178 件でした。



ハイジャック商標数 (2007年1月～2008年1月)

2. 国内のフィッシング状況

国内でのフィッシングの報告件数を4半期毎に整理すると、2007年10-12月が最高（54件）を示し、2008年1-3月期の件数は低下し34件となりました。



しかしながら、この1-3月期はフィッシングの個々の事例パターンとしては変化に富んだものが観測されました。

例えば SNS サイト mixi に類似する名称(mixii)をかたりサイトに誘導するメールが出回り、株式会社ミクシィでも1月末頃より注意喚起が行われています。

2月に入って携帯電話のNTTドコモや同社のインフォメーションセンターをかたるフィッシング事象が発生したと報じられました。また、ISPのniftyをかたるフィッシングの発生についても注意喚起が行われました。さらに、3月にはネットバンキングではイーバンクやゆうちょ銀行をかたるフィッシング事象が観測されるなど、国内の多様な業種におけるフィッシング事象が発生しました。

フィッシング詐欺の手口は銀行やクレジットカード会社など金融機関に関わらず、様々な業種にて応用され得るものですので、注意を払うとともに、啓発活動も一般性のある観点で実施する必要があると言えます。



「mixii」と称するサイト



ゆうちょ銀行をかたるフィッシングサイト

3. 活動状況

(1) 「ID 盗難・フィッシング詐欺の動向と対策」セミナー

2008年1月30日に次の「ID 盗難・フィッシング詐欺の動向と対策」セミナーを開催し、定員を超える多くの方に参加をいただきました。

日時： 2008年1月30日（水）13:15～17:30

会場： 三田共用会議所（東京都港区三田 2-1-8）

プログラム：

挨拶 三角 育生氏（経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室長）

- (1) 米国金融機関に対する電子犯罪の状況と対策の展望, Peter Cassidy 氏（米 Anti-Phishing Working Group [APWG] 事務局長）
- (2) Yahoo!JAPAN におけるフィッシング対策, 吉田 奨氏（ヤフー株式会社 法務部 マネージャー）
- (3) マルウェアと ID 盗難・その動向と対策, 野々下 幸治氏（ウェブルート・ソフト

ウェア株式会社テクニカルサポートディレクター)

- (4) フィッシング: 国内外の最新動向と JPCERT/CC の取り組み, 小宮山 功一朗氏
(JPCERT コーディネーションセンター(JPCERT/CC) 早期警戒グループ 情報
セキュリティアナリスト)

本セミナーの講演資料をフィッシング対策協議会ホームページにて公開しましたのでご活用ください。

<http://www.antiphishing.jp/report/index.html>

(2) 報告書

2007 年度のフィッシング対策協議会における調査等成果を報告書としてとりまとめました。例えばフィッシングに関する事業者調査報告書、ユーザ意識調査報告書等、随時発表して行く予定です。

以上